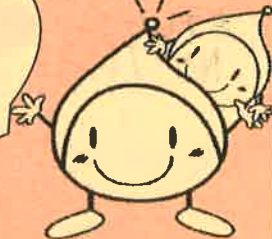


ささえ

地域ぐるみの子育
て支援活動が大事！
地域を支えていく
子どもに目を向けて



エールくとミニさぼちゃん

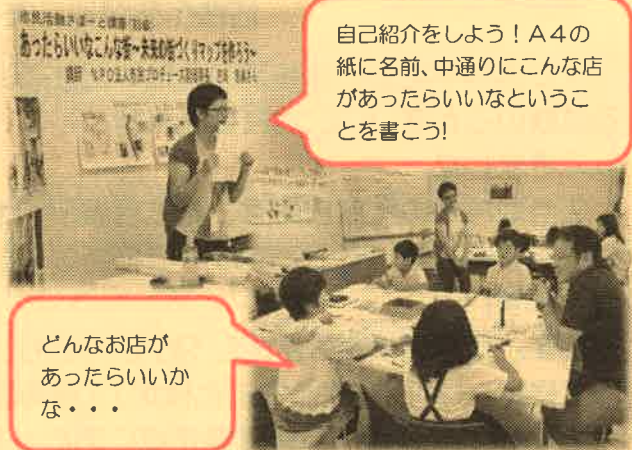
奇数月発行

ぼくたちの中通り商店街 こんな通いだったらいいな！

8月22日(金)10:00より、市民活動さぼーと講座「あったらいいなこんな街 中通りあそ歩」が、岩国駅前中通り商店街と介護老人福祉施設ヴィータで開催されました。講師はNPO法人市民プロデュース副理事長吉岡恵美さんで、午前中は「子どもたちの集まる未来のまち」について考えました。

午後は、中通商店街振興組合副理事長の藤田信雄さんから中通りの歴史や現状についてお話を伺いました。

その後、児童は中通商店街振興組合理事長松川卓司さんや藤田さんと共に、中通りを探検し、アーケードの天井が開く様子や防犯カメラが多数設置してあること、雨漏りを点検するためにはしごが設置してあること、歩行者天国になっていること、駐輪禁止のために片側だけポールが置いてあることなど、いろいろな工夫がされていることを学びました。



自己紹介をしよう！A4の紙に名前、中通りにこんな店があったらいいなというところを書こう！

どんなお店があったらいいかな・・・



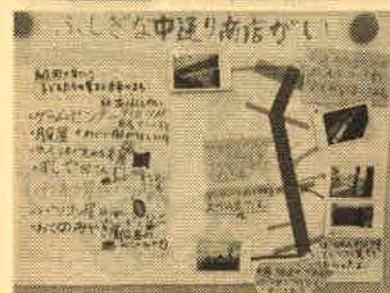
69年前には中通りは田んぼだったよ。昭和40年代にアーケードができ、通りの長さは250メートル、56店舗あったよ。

「中通り商店街」を始めて知ったという児童も多く、商店街の人に質問をしたり、気に入ったところを写真に撮って、マップ作りの材料を集めました。

同時に空き店舗が多数あることを学び、空き店舗に「文房具屋さん」「雑貨屋さん」「つりぼり」「花屋さん」「動物とふれあう場所」「温泉」「ゲームセンター」「駄菓子屋さん」「本屋さん」「かき小屋」等があったらいいという意見がでました。

また、「夏が暑いからミストをつけたらいい！」「にぎやかな笑顔があふれる通りにしたい！」「広島から中通り商店街に来てもらえるような楽しい明るい通りにしたい！」等、色々なアイデアが出ました。

最後に、中通りを探検した成果をマップにまとめ、後日、中通り商店街の人たちにも発表する予定です。



「あったらいいなこんな街」
「未来の街づくりマップ」完成！

取材に行って
きました！
No. 71

岩国検定実行委員会 「あなたもいわくに通になろう！」



岩国検定実行委員会
代表 沖 義照さん

「岩国検定実行委員会」は、岩国市民や市外・県外の多くの人に岩国市の歴史、文化、自然、生活などを知ってもらい、郷土岩国に愛着と誇りを持ってもらう目的で、平成22年（2010年1月）、市民有志10名で発足しました。

「岩国検定試験」は過去2回実施し、第1回は91名、第2回は71名が受験しました。受験者の中には企業の方も多く、「郷土岩国のことを知って地域に貢献しよう！」という意気込みが感じられました。

第2回検定試験では、「岩国市夢をはぐくむ交付金」を活用し、岩国検定テキストブック「いわくに通になろう」(A5版・120ページ)を400部出版し、完売しました。

第3回検定試験は、今年11月30日(日)に実施されます。今回は、テキストブックに代わる「CD版」を作製し、9月より発売します。

このように、資金や人材の少ない中、岩国の歴史、文化を伝え、地域の活性化を図る工夫をされています。

「ご当地検定」とは特定の地域に関する文化や歴史などの知識を図る試験のことをいい、地域振興政策として10数年前から全国に広がってきました。

ご当地検定の実施機関は、商工会議所や地方自治体、観光協会などの公的機関が多いようですが、ここ岩国では、市民活動団体が実施しています。

現在、ご当地検定は全国に90余りあり、山口県では「萩ものしり博士検定」「関門海峡歴史文化検定」「周南歴史検定」等があります。

今年行う第3回の試験問題作成にあたって、設問の形式を単に知識を問うものではなく、受験することで岩国のことを学べるように工夫しておられます。たくさんの市民が受験してほしいということでした。

(柳原)



受験参考本
「いわくに通になろう」



CD版



会員による
試験問題50問作成中の様子



「岩国検定物語」
十年間の岩国検定物語
たを汗と涙と笑い
合人のせとや
十人の民間有志
の力が

第3回岩国検定 実施要項

日時 平成26年11月30日(日)

受付：午前9時～9時50分 試験：10時～11時30分

場所 岩国短期大学

定員 100名

内容 岩国市全域の歴史・自然・文化・人物・生活・観光他

受験料 1,000円

申込期間 10月1日～11月15日

受験申込 はがきに住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を記入の上、事務局へ郵送。

〒740-0021 岩国市室の木町3丁目14-7

●お問い合わせ●

岩国検定実行委員会

代表 沖 義照さん

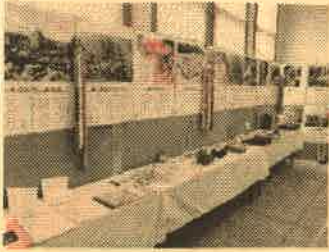
TEL:0827-21-8032

E-mail:ny2y-ok@asahi-net.or.jp





市民活動団体のイベント情報



西岩国駅にて
展示の様子

西岩国駅の展示室にて広島原爆についての展示が行われていました。戦争についての話を聞いた、平川小学校の子どもたちからの感謝の手紙が送られていて、平和の大切さを学ぶためには必要な学習であると再確認できました。
(山口大学研修生 森田)

ドクターオボの自己肯定感を高める実践セミナーⅡ

人生のなかで大切な、0歳～3歳までの自分自身について考えていきます。

日 時：平成26年10月11日(土)
13:30～15:30
場 所：シンフォニア岩国 大会議室
参加費：500円 定員：80名
問い合わせ：ヒューマンセルフケア岩国
090-8605-2045(助友)

桜のあれこれを学ぼう！

桜の手入れ方法を学ぶ講座

日 時：平成26年9月20日(土) 10:00～11:30(講座) 11:30～12:00(実践)
場 所：サンライフ岩国 参加費：無料 対 象：市民
講 師：正本 良忠さん(広島県緑化センター 指導員)
問い合わせ：錦帯橋さくら守の会 電話 090-3786-9938



支援センターからのお知らせ



市民活動さぽーと講座ご案内

岩国市から

仮認定特定非営利活動法人 誕生！

特定非営利活動法人いろいろの家

山口県内で認定NPO法人は2団体、仮認定NPO法人は3団体となりました。

認定NPO法人は4つの税制優遇を受けられ、仮認定も一部税制優遇を受けられます。

平成27年3月31日までは「すべてのNPO法人」に仮認定申請の機会が設けられています。

例えば、「寄付者ゼロ人、寄附金ゼロ円であっても」、その他の要件を満たしていれば、「仮認定」を受け、寄付者への税制優遇を獲得することができます。

実践に学ぼう！地域づくりのヒント

～市民協働の扉をひらく～

人材育成を軸としたコミュニティ再生や住民自治組織、住民協働に関する地域づくりのヒントを学ぶ。

日 時：平成26年10月4日(土)
13:00～15:00
場 所：シンフォニアいわくに
特別会議室

参加料：300円 対 象：市民
講 師：櫻井 常矢さん

(高崎経済大学 地域政策学部 地域づくり学科 教授)

第2回 登録団体交流会

日 時：平成26年9月27日(土)
13:30～16:30
場 所：岩国市民会館 参加費：無料

ママカフェ ～このゆびとまれ！～ 今年も開催

乳幼児をお持ちのイクメンパパ、ママ、プレママ、プレパパ みんな集まれ！

日 時：平成26年11月15日(土) 午前10時～午後3時

場 所：岩国市総合体育館 武道場・会議室

対 象：主に乳幼児の保護者(妊婦さんも歓迎)

参加料：100円

内 容：ベビーダンス・親子ヨガ・ベビーマッサージ・イクメンパパと子育て広場
リズム遊びと英会話(リトミック)・子育て団体ワークショップ





助成金ニュース

①内容、対象②助成金額、件数③締切④問合せ先
*詳しくは、センター又は各問合せ先までお願いします。

第10回 TOTO水環境基金

- ① 地域の水と暮らしの関心の再生または新しい文化の実現に向けた実践活動
- ② 1件につき上限80万円
- ③ 9月30日(火)
- ④ TOTO株式会社 Tel:093-951-2224 Fax:093-951-2718

第9回 女性いきいき大賞

- ① 山口県内で自主的な活動を行い、創意と工夫に富んだ活動を対象とします
対象(くらしづくり・子育て・福祉・地域づくり)
- ② 最優秀賞、優秀賞、コープやまぐち奨励賞(副賞として30~10万円)
- ③ 9月30日(火)
- ④ コープやまぐち 女性いきいき大賞事務局 Tel:083-995-3607

平成26年度・第24期助成《地域文化の振興をめざして》

- ① 芸術活動分野、伝統芸能分野、伝統工芸技術分野、人材養成事業分野
- ② 1件につき上限50万円
- ③ 10月31日(金)
- ④ 公益財団法人 全国税理士共栄会文化財団 Tel:03-5740-8331 FAX:03-5740-8333

岩国のへえ〜 62の巻

編集後記

吉川家と軍師官兵衛の深いつながり

乱世を生き抜いた吉川家と、豊臣秀吉の軍師として活躍した黒田官兵衛。

二人の関係は、数々の書状からうかがえるように深い親交を結んでいました。

天下の情勢に明るい官兵衛は吉川家のために、秀吉との取次ぎや戦略を提案するなど手紙のやりとりを重ねています。

父子関係においても、官兵衛は吉川広家に子息長政を鍛えてくれるよう頼み、一方広家は、一子就頼を黒田家へ養子に出すことを約束していたこともあったといいます。両者の信頼関係は親子代々続きました。

二者は互いのどこにひかれたのでしょうか…

後に広家は関ヶ原の戦いにおいて官兵衛の長男長政を通じて、岩国3万石の初代領主となり、現在の岩国市の基礎を築きました。

今も広家は京都大徳寺境内にある官兵衛の墓のそばで眠っています。

参考文献「黒田如水書状、吉川元春書状」「岩国市史」



支援センターでは普段体験できないようなことを体験させていただいて、とても充実した研修になりました。

(山口大学研修生 森田)

7月30日(水)に市民活動カフェ2015の実行委員会がありました。去年の問題点を話し合い、それを解決するための面白いアイデアがたくさんありました。みんなで作り上げる市民活動カフェ。今年度のカフェも成功するように頑張ります。

夏が終わり、秋に入りました。これからだんだんと過ごしやすくなっていきますね。

(フジ)

支援センター利用状況(7、8月)

・印刷、コピー、大判プリンター	225件
・相談	27件
・登録団体数	86団体(のべ数)

発行: いわくに市民活動支援センター

〒741-0062 岩国市岩国4-4-15
(岩国市中央公民館3階)

TEL 0827-44-0288 FAX 0827-44-0324

E-mail:shien@sky.icn-tv.ne.jp

http://www.skv.icn-tv.ne.jp/~shien/